

難波田城だより

100号

編集・発行

—難波田城公園・難波田城資料館ニュース— NEWS from NANBATAJO

富士見市立難波田城資料館

令和6年6月1日発行

今号の内容

- 何かと出会える・誰かと出会える 難波田城公園
- 難波田城だより全号インデックス(記事一覧)
- 市民学芸員のページ 特別版
- 印判手の器
- 夏のイベント予定

何かと出会える、誰かと出会える 難波田城公園

難波田城資料館館長 駒木 敦子



「おかえりなさい」

4月、何人もの方から声をかけていただきました。

平成6年(1994)に富士見市に入職し、市立考古館に民俗担当学芸員として配属された後、難波田城公園の開設準備室を経て、平成12年(2000)の開園当初から3年前までずっと勤務していました。

そして人事異動で3年ぶりに難波田城資料館勤務となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

資料館友の会、市民学芸員、難波田城公園活用推進協議会、手織りの会、古文書の会、美楽の会、扇だこ保存会、いきものがかり、ほうき作り伝承会など多くの市民の方々とともに、当公園は年を重ねてきました。そして、記念すべき第100号の巻頭ページに書く機会を与えられたことに感謝申し上げます。

手前味噌になりますが、この難波田城公園の魅力と可能性を示す、最近のできごとを紹介します。

・・・・・・・・・・・・・・・・

5月初旬の午前11時頃のこと。園内の設備の様子を見に資料館の自動ドアを出ると、見学に来ていた保育園児たちが旧金子家住宅の北側の園路を歩いて

いるのを見つけました。そして、旧金子家の南側では、「婚礼前撮り」の団体が和気あいあいと撮影中である様子がうかがえました。前撮りとは、結婚式の前に記念写真を撮影するもので、好きな衣装や場所をお二人で選びます。

私が声をかけなければ、この2組は出会うことがない。そう確信し、私は撮影中の団体の許しを得て、園児たちに声をかけました。「きれいな着物を着た、花嫁さんと花婿さんがいるよ～！」

保育士さんが園児を誘導し、旧金子家の前庭に進路を変えました。「ほら、きれいだねえ！ みんなで『おめでとうございます』って言おう！」保育士さんの合図で元気な声が響き渡りました。晴れ姿のお二人も手を振って笑顔で応えていました。(上の写真)

昭和40年(1965)頃まで婚礼は自宅で行われていましたが、式場での挙式が一般的となった現在では、地域で花嫁花婿を見かけることなど、まずありません。こんなすてきな瞬間をつくり出せるのは、難波田城公園ならではの。これからも、たくさんの出会いを生み出す施設運営を行いたいと思います。

特集1 難波田城資料館だよりインデックス(記事一覧)(1～52号)

号	発行日	表紙(1頁)	2頁	3頁
1	平11.02.10	『歴史公園開設準備室だより発行にあたって』	特集(1)「資料館と野外博物館」	特集(2)「昔の民家を再生する・その目的と意義」
2	平11.06.10	『名主の家のたたずまいを残す大澤家住宅』	特集 難波田氏の歴史①「鎌倉時代の難波田氏と武蔵武士」	人の削った道具・人の使った道具 (⇒以下道具と略す)「2本のタウナイマンガ」
3	平11.10.10	『「半農半商」の家・旧金子家住宅』	特集 難波田氏の歴史②「南北朝・室町時代の難波田氏」	道具「米をつくための臼と杵」
4	平12.02.10	『名主屋敷の長屋門-旧鈴木家表門-』	特集 難波田氏の歴史③「戦国時代の難波田氏」	道具「むかしの暖房器具」
5	平12.09.10	『空から見た難波田城公園』	特集(1)難波田城資料館常設展示室紹介①「富士見の自然」	特集(2)みんぞく歳時記①「お月見の話」 道具「石臼は人類の大発明!?!」
6	平12.12.10	『市民学芸員によるガイドツアー』	特集(1)常設展示室紹介②「中世 武蔵武士と難波田氏」	特集(2)みんぞく歳時記②「お正月の話 ～大正月と小正月～」
7	平13.03.10	『旧金子家のたたずまい』	特集(1)常設展示室紹介③「中世 戦国の城 難波田城」	道具「台地の井戸と低地の井戸」
8	平13.06.10	『春の文化財めぐり-鎌倉道と湧き水を訪ねる』	特集(1)常設展示室紹介④「中世 祈りと信仰」	道具「養蚕の黄金期を語るマブシオリ機」
9	平13.09.10	『開園1周年まつり-「10万分の1のありがとう」』	特集 常設展示室紹介⑤「近世 御鷹場」	道具「ご飯を炊いた釜とカマド」
10	平13.12.10	『夢を育む歴史のまち-市民学芸員視察研修(福島県白河市)から-』	特集 常設展示室紹介⑥「近世～近代 新河岸川舟運」	道具「稲や麦を脱穀する千歯コキ」
11	平14.03.10	『春季企画展「ちょっと昔の昔物語」～のら着・よそゆき・ちょいちょい着～」	特集 常設展示室紹介⑦「近代～現代 東上線と鶴瀬駅」	道具「のら着の派手と地味」
12	平14.06.10	『「難波田城のお膝元を歩く」-市民学芸員初夏の文化財めぐり-』	特集(1)常設展示室紹介⑧「近・現代 戦時下のくらし」	特集(2)「みんぞく歳時記 ノゲシノイブシ～麦の収穫儀礼と田村麻呂伝説～」
13	平14.09.10	『昔の道具で豆腐づくり』	特集 常設展示室紹介⑨「現代 戦後の混乱と復興」	道具「箕のいろいろな使われ方」
14	平14.12.10	『「私の富士見30年」-写真展 富士見の暮らしとできごとから-』	特集 常設展示室紹介⑩「現代 都市化のはじまり-団地の進出と人口増加-」	道具「農家の冬支度を支えた縄ない機」
15	平15.03.10	『私の思い出-大澤家と新河岸川-』	特集 常設展示室紹介⑪「現代 富士見の町村合併」	道具「織物業の歴史を語る機織り機」
16	平15.06.10	『「私の青春時代」企画展「記憶の扉1972」から』	四季の難波田城公園	道具「氷冷蔵庫と食品の保存」
17	平15.09.10	『とっても面白くなる「ちょこっと体験」』	難波田城知恵袋-第1袋-(⇒以下知恵袋(数)と略す)城はないけど難波田城? おもしろなつかし体験(⇒以下体験と略す) (1)「夏休み古民家宿泊体験」 難波田城目安箱から	道具「下駄の歴史と型なる力?」
18	平15.12.10	『金子家の「つつるっ」』	知恵袋(2)「難波田城なんじゃ! 門じゃ!」 体験(2)「拓本教室」 難波田城目安箱から	道具「竜吐水と腕用ポンプ」
19	平16.03.10	『勘違いしていた碑-春季企画展「富士見の板碑」から-』	知恵袋(3)「善銀あれこれ! 善銀は悪人?」 体験(3)「数珠玉の腕輪づくり」 難波田城目安箱から	道具「畑を田にした揚水ポンプ① ～東大久保地区蛭沼の陸田開拓～」
20	平16.06.10	『「南畑って-」』	知恵袋(4)「善銀あれこれ2 二回死んだ? 善銀」 体験(4)「よろいを着てみよう」 難波田城目安箱から	道具「畑を田にした揚水ポンプ② ～東大久保地区蛭沼の陸田開拓～」
21	平16.09.10	『「十八番・おはこ」はどこから来たの?』	知恵袋(5)「古民家〈屋根物語〉」 体験(5)「はたおり体験」	道具「畑を田にした揚水ポンプ③ ～東大久保地区蛭沼の陸田開拓～」
22	平16.12.10	『つれづれなるままに「扇だこ」をめぐって-郷土民芸を大切にしよう-』	知恵袋(6)「肩透かしを食った難波田氏再興の深大寺城」 体験(6)「わら草履づくり体験」	道具「キセルを直す道具と和菓子屋」
23	平17.03.10	『南畑の狍犬たち-教育パパの先駆け? 狍犬にみる親心-』	知恵袋(7)「古民家ゾーンでワラ探し」 体験(7)「竹ぼっくりづくり」	道具「南畑に製縄特攻隊? ～昭和20年の新聞記事から～」
24	平17.06.01	『半世紀前の新河岸川より』	知恵袋(8)「名主・大澤家の江戸時代の様子」 体験(8)「ちょこっと体験「春の草花でしおりづくり」」	道具「木挽きノコギリ」
25	平17.09.01	『難波田城水堀ものがたり』	知恵袋(9)「難波田氏一行がやってきた」 体験(9)「かざぐるまづくり奮闘記」	道具「市内に投下された爆弾の破片」
26	平17.12.01	『湧き水を見直したい』	知恵袋(10)「後北条氏滅亡-その後の難波田氏一族は-」 体験(10)「ちょこっと体験「オリジナルコマづくり」」	道具「市内に投下された爆弾の破片2」
27	平18.03.01	『古民家への誘い』	知恵袋(11)「鎌倉道」と難波田氏 体験(11)「じゅず玉の腕輪づくり」	道具「難波田城跡出土の道具1」
28	平18.06.01	『小田原・箱根を歩いて』	第三期市民学芸員が委嘱されました! 体験(12)「オリジナル鯉のぼりと兜づくり」	道具「難波田城跡出土の道具2」
29	平18.09.01	『日本の暦 十干十二支』	知恵袋(12)「難波田城公園基本計画から開園まで」 体験(13)「藍の生葉染め」	道具「難波田城跡出土の道具3」
30	平18.12.01	『岩槻視察研修』	知恵袋(13)「難波田城公園基本計画から開園まで②」 体験(14)「とんとん相撲」	道具「箱膳と昔の食事①」
31	平19.03.01	『野火止用水あれこれ』	知恵袋(14)「難波田城公園基本計画から開園まで③」 体験(15)「風づくり」	道具「箱膳と昔の食事②」
32	平19.06.01	『金子氏ゆかりの地を訪ねて』	難波田城公園歳時記「四季おりおり」夏 体験(16)「折り紙のかぶと作り」	道具「般若院の護摩道具」
33	平19.09.01	『歩いて走った五十三次往復～旧東海道を徒歩と自転車まで～』	難波田城公園歳時記「四季おりおり」秋 体験(17)「田んぼ体験隊」	道具「般若院の修験道具」
34	平19.12.01	『鉄道に歴史あり』	難波田城公園歳時記「四季おりおり」冬・新春 体験(18)「ベットンボ作り」	道具「富士見市の押し絵羽子板」
35	平20.03.01	『前耕地観音堂の「北向き観音」』	難波田城公園歳時記「四季おりおり」春 体験(19)「マイ箸づくり万歳!」	道具「新河岸川 船の道具1」
36	平20.06.01	『嵐山・杉山城跡を尋ねて』	常設展示室-富士見の自然- 体験(20)「オリジナルかぶとづくり」	道具「新河岸川 船の道具2」
37	平20.09.01	『「小江戸検定」へのチャレンジ ～点から線に変わる郷土史の知識～』	常設展示室②-中世- 体験(21)「夏の風物詩 ゆかた着付け教室」	道具「新河岸川 船の道具3」
38	平20.12.01	『鎌倉街道』	常設展示室③-近世- 体験(22)「十三夜のだんごづくり」	道具「鉾石ラジオ」
39	平21.03.01	『風のあゆみ～アジア編～』	常設展示室④-近代から現代- 体験(23)「七輪でお餅焼き」	道具「稲作の道具1」
40	平21.06.01	『風のあゆみ～日本編～』	難波田城公園～春～ 体験(24)「田んぼ探検隊・田植の巻」	道具「稲作の道具2」
41	平21.09.01	『まず、資料館へ連絡を!～ガラクタが宝物へ変身～』	難波田城公園～夏～ 体験(25)「夏休み古民家宿泊体験」	道具「稲作の道具3」
42	平21.12.01	『関宿城と逆井城』	難波田城公園～秋～ 体験(26)「さつまいも掘り」	道具「灯りの道具」
43	平22.03.01	『富士見市に鶴(タンチョウ)が居た?』	難波田城公園～冬～ 体験(27)「オリジナル羽子板・コマづくり」	道具「醤油づくりの道具」
44	平22.06.01	『近くて遠い滝の城(所沢市)を訪ねて』	古民家のならわし夏編「七夕のお話」 体験(28)「みそ・しょうゆのおにぎりづくり」	道具「醤油屋の徳利」
45	平22.09.01	『水塚の効用』	古民家のならわし秋編「お月見のお話」 体験(29)「牛乳パックの紙すき」	道具「養蚕の道具」
46	平22.12.01	『大宮(さいたま)側から見た川向こうのこと』	古民家のならわし冬編「すす払い(大掃除) 門松 注連縄、正月飾り」 体験(30)「第三土曜は「いろいろの日」」	道具「10年間のいただきもの」
47	平23.03.01	『明治43年の米一升は17銭 -水害時炊き出しの記録-』	古民家のならわし春編 ひな祭りの話 体験(31)「お爺ちゃんも楽しいわたくし体験」	道具「水害と水害舟」
48	平23.06.01	『貞観の大地震-1142年前の三陸大震災-』	こんなお宝がありました(資料館編)(⇒以下こんなお宝と略す)「月待板碑」 体験(32)「水てっぽう」	道具「水害の記録」
49	平23.09.01	『水害時の助け合いの記録』	こんなお宝「むしろ機でわらむしろを作るビデオ」 体験(33)「シュロの葉バッタ」	常設展示「外」説「末の松山」
50	平23.12.01	『水害が起きないように願って』	こんなお宝「水谷の『まとい』(繻)」 体験(34)「クリスマスリースづくり」	道具「中世の多門氏館跡」
51	平24.03.01	『東京オリンピックの思い出 ～支えた一人として～』	こんなお宝「竜吐水」 体験(35)「消防訓練」	道具「夏を涼しく冬を暖かく」
52	平24.06.01	『市制40周年事業「古民家結婚式」に思うこと』	こんなお宝「農機具「マンガ」と『代かき』について」 体験(36)「ビニールだこづくり」	道具「世界を制した砲丸」

インデックス(記事一覧)(53号～100号)

号	発行日	表紙(1頁)	2頁	3頁
53	平24.09.01	『にわたずみなる平井城址へ』	こんなお宝「田打車」 体験(37)「わりばし鉄砲(難波田城公園まつり編)」	道具「花嫁衣裳と嫁入り支度」
54	平24.12.01	『殺蔵展示「昔の結婚式」によせて』	こんなお宝「千歯こきと足踏み脱穀機」 体験(38)「すすきミミズづくり」	道具「写真でみる40年前の富士見」
55	平25.03.01	『サグラダ・ファミリア(聖家族贖罪教会)』	こんなお宝「唐箕(とうみ)と万石(まんごく)」 体験(39)「かわいいおひな様づくり」	道具「ベッドタウンの制服史」
56	平25.06.01	『新島八重のふるさと会津鶴ヶ城』	こんなお宝「田舟は古代から」 体験(40)「パラシュートづくり」	道具「キリシタン禁止の高札」
57	平25.09.01	『「縁結び」 難波田城公園・東京大神宮』	こんなお宝「馬耕機(犁・犁)」 体験(41)「案山子づくり」	道具「あそびのうつりかわり」
58	平25.12.01	『これからの富士見市(暮らしやすく、人と自然が共生できるまち)』	こんなお宝「フイゴ」 体験(42)「わらざうりづくり」	道具「富士見文化財かるた」
59	平26.03.01	『綿を育て糸を紡ぐ』	こんなお宝「水害船(上げ舟)」 体験(43)「扇だこづくり」	道具「耕地改良と農業の機械化」
60	平26.06.01	『市民学芸員制度-その始動とはぐくんだ環境-』	こんなお宝「白噴井戸」 体験(44)「市民学芸員研修」	人の創ったもの★人の使ったもの(以下ものと略す)「南畑地区の用水」
61	平26.09.01	『市民学芸員 3年目に振り返って』	難波田城ちょっと拝見みどころ紹介(以下みどころと略す)「櫓間」 体験(43)「博物館実習」	もの「殺蔵展示 はかる道具 より」
62	平26.12.01	『江戸城を訪ねて』	みどころ「五輪塚」 体験(44)「昔の道具ではかうう」	もの「学校日誌にみる農繁休業」
63	平27.03.01	『「扇だこ」との出会いから』	みどころ「馬頭観音」 体験(45)「市民学芸員養成専門講座」	もの「古民家の差し茅」
64	平27.06.01	『夏休み、古民家宿泊体験』	みどころ「古民家シリーズ①『土間』」 体験(46)「五右衛門風呂」	もの「喜太郎さんのスケッチブック」
65	平27.09.01	『南畑村片隅の今昔物語』	みどころ「古民家シリーズ②『神棚』」 体験(47)「公園まつり武者行列」	もの「残し伝える戦争体験」
66	平27.12.01	『石に刻まれた人々の祈り』	みどころ「古民家シリーズ③『式台』」 体験(48)「開園15周年記念イベント 秋のなんばつたまつり」	もの「旧大澤家住宅模型」
67	平28.03.01	『企画展「ほうきと竹かご」によせて-30年前の取材から現在の栽培まで-』	みどころ「古民家シリーズ④『五右衛門風呂』」 体験(49)「拓本体験教室」	もの「富士見のほうき作り」
68	平28.06.01	『復興に全力を尽した松平伊豆守信綱』	みどころ「古民家シリーズ⑤『油屋と揚げ戸』」 体験(50)「ナイフで削ろう」	もの「富士見の竹かご作り プラスチック以前の生活用具」
69	平28.09.01	『武州一揆 今年で150年』	みどころ「古民家シリーズ⑥ 大澤 綾さんに聞く-その一『大澤家のご先祖は美濃の国!?』」 体験(51)「シュロの葉バッタ」	もの「南畑八幡村社の獅子舞 神社と獅子舞の歴史」
70	平28.12.01	『舟運から鉄道へ-富士見市とその周辺の交通網の変化-』	みどころ「古民家シリーズ⑦ 大澤 綾さんに聞く-その二『幕末から明治・大正・昭和にかけての大澤家』」 体験(52)「秋の古民家コンサート」	もの「三村合併を伝える旧村役場文書」
71	平29.03.01	『難波田城公園をもっと楽しむ方法』	みどころ「古民家シリーズ⑧ 大澤 綾さんに聞く-その三『戦中・戦後の大澤家』」 体験(53)「二毛作に挑戦・小麦づくり」	もの「『武鑑』は武士の名鑑」
72	平29.06.01	『市民学芸員 ノススメ』	みどころ「古民家シリーズ⑨ 大澤 綾さんに聞く-その四『移築前の大澤家』」 体験(54)「昔の着物を着てみよう」	もの「武鑑にみる難波田氏」
73	平29.09.01	『藍を育て次へつなぐ』	みどころ「城跡シリーズ①『曲輪』」 体験(55)「「藍の型染め」に挑戦」	もの「なつかしの観光旅行」
74	平29.12.01	『北海道になぜ難波田橋がある?』	みどころ「城跡シリーズ②『復原木橋』」 体験(56)「紙飛行機を飛ばそう」	もの「山下河岸「若荷屋」の南園」
75	平30.03.01	『難波田氏と似た者同士 藤田氏』	みどころ「城跡シリーズ③『堀と土塁』」 体験(57)「小学生の社会科見学 昔のくらし体験」	もの「面師三代・高倉左近のお面」
76	平30.06.01	『信長と家康の富士見物』	みどころ「城跡シリーズ④『サイカチ(巨茨)』」 体験(58)「しおり作り」	もの「富士見の里神楽を伝えるもの」
77	平30.09.01	『蓮華の花がひーらいた』	みどころ「石造物シリーズ①『庚申塔』」 体験(59)「昔のあそび体験」	もの「富士見・セルビア友好の原点」
78	平30.12.01	『祖父から聞いた明治43年の洪水』	みどころ「石造物シリーズ②『修堤紀功碑』」 体験(60)「古民家で昔話」	もの「明治時代を伝える文字」
79	平31.03.01	『緑側の原風景-平成の陽(ひかり)を浴びながら-』	みどころ「石造物シリーズ③『難波田直治郎墓』」 体験(61)「とんとん相撲」	もの「平成史を振り返る」
80	令元.06.01	『伝統ある扇だこをあげよう』	みどころ「石造物シリーズ④『南畑村記念碑』」 体験(62)「やぶさめごっこ」	もの「私年号板碑」
81	令元.09.01	『新紙幣の顔に渋沢栄一』	みどころ「石造物シリーズ⑤『鶴瀬西小学校歌碑』」 体験(63)「過去にタイムスリップした1日～難波田城公園まつり参加記～」	もの「ワタと綿繰り機」
82	令元.12.01	『それからの難波田憲欽』	みどころ「石造物シリーズ⑥『地固めの石』」 体験(63)「稲の脱穀体験」	もの「ちゃぶ台は「平等」の象徴」
83	令2.03.01	『民具整理のお仕事』	みどころ「石造物シリーズ⑦『愛宕山大権現・稲荷大明神』」 体験(64)「ミニ正月飾り作り」	もの「行政文書で見つけたお風呂」
84	令2.06.01	『本丸跡にあった修験寺院「十玉院」』	みどころ「常設展シリーズ①『映像コーナー』」 体験(65)「紋切り」	もの「公団団地のお風呂」
85	令2.09.01	『富士見市・資料館・そして私とセルビア』	みどころ「常設展シリーズ②『現代・富士見の都市化』」 体験(66)「チョット変わった「かさぐるま」」	もの「幻のホームページ」
86	令2.12.01	『難波田城公園とともに20年～来園する皆様にはっきりといただける公園を目指して～』	みどころ「難波田城公園・資料館20周年記念誌「学びの広場難波田城 地域・市民とともに20年」」 体験(67)「開園・開館 20 周年記念イベント 古民家寄席」	もの「麦打ち台とクルリ棒」
87	令3.03.01	『渋沢栄一との出会い』	みどころ「常設展シリーズ③『街づくりと園場整備』」 体験(68)「コロナ禍に想う」	もの「難波田氏の描いた絵画」
88	令3.06.01	『渋沢栄一へ思いを馳せた一日』	みどころ「企画展「難波田氏とその時代」-展示図録にみる見どころ」 体験(69)「難波田城オリジナルパーククラフトミニよろいとかぶと」	もの「難波田城跡の土葬墓」
89	令3.09.01	『木綿部会での活動を生かして』	みどころ「難波田氏の由来 図録『難波田氏とその時代』より」 体験(70)「夏休み古民家むかし体験」	もの「飯能戦争と難波田氏」
90	令3.12.01	『公園鶴瀬団地の「移り変わり」』	みどころ「図録紹介「富士見の修験道-十玉院と般若院-」」 体験(71)「藍染め入門講座」	もの「学びの道具」
91	令4.03.01	『ふるさとの誇り難波田城』	みどころ「図録紹介「難波田城のすべて」」 体験(72)「紙粘土のまゆ玉だんご」	もの「御定杭と鷹場絵図」
92	令4.06.01	『野方の暮らし-宅地化以前の鶴瀬-』	みどころ「図録紹介「戦国の集落と領主」」 体験(71)「マジックハンドを作ろう」	もの「鷹場密漁事件」
93	令4.09.01	『金子家が「油」を売っていた頃』	みどころ「図録紹介「水害と闘う」」 体験(74)「夏休み古民家むかし体験」	もの「石工・狛犬・文書」
94	令4.12.01	『鎌倉殿と北条氏ゆかりの地を巡る-市民学芸員管外研修-』	みどころ「図録紹介「くらしの水」」 体験(75)「ミニ扇だこ作り」	もの「写された富士見市」
95	令5.03.01	『私の難波田城ガイド日記』	みどころ「図録紹介「富士見の板碑」」 体験(75)「ミニほうきづくり」	もの「村の葬列と葬具」
96	令5.06.01	『詩集『野良に叫ぶ』』	みどころ「図録紹介「草屋根の年中行事」」 体験(76)「「なんばつた」の初体験」	もの「宗門改と村々」
97	令5.09.01	『石仏と干支との関連性』	みどころ 図録紹介「ちょっと昔の物語」 体験(77)「CDゴマを作ろう」	もの「富士見市資料館友の会 和島誠一賞表彰状」
98	令5.12.01	『世界の動きと難波田城公園』	みどころ 図録紹介「郷土かるたの富士見」 体験(78)「夏休み古民家宿泊体験」	もの「炭火アイロン」
99	令6.03.01	『難波田城公園 花だより』	みどころ 図録紹介「文書の時代～鶴馬村の名主・戸長～」 体験(79)「田んぼ体験隊「もちつき」」	もの「考古館開館50周年」
100	令6.06.01	『何かと出会える・誰かと出会える 難波田城公園』	「市民学芸員のページ特別版」	もの「印判手の器」

特集2 市民学芸員のページ特別版

～100号のこの機に皆様に私たち市民学芸員の活動を紹介します～

市民学芸員とは



私たちが市民学芸員です！

市民学芸員制度は、市民と行政の協働で平成12年(2000)6月の難波田城公園開園と同時にスタートしました。市民学芸員になるには3年毎に開催される富士見市の自然、歴史、民俗、そして文化財や博物館活動を学ぶ養成講座を受講することになっています。

私たちの活動

市民学芸員に関する要領、細則には、市民学芸員の活動として(1)資料館の展示及び歴史の広場の展示物の解説・案内(2)資料館主催事業への協力として資料館の主催する体験学習・講座・企画展示その他催し物への協力(3)その他資料館事業の協力として収蔵資料の整理や調査活動の支援などが定められています。実際、園内ガイドツアーでは、工夫をしながら分かりやすい解説に務め、ツアーの参加者からの質問に対応しながら交流を深め、またイベントには館と連携して積極的に参加・協力しています。

また各自は(1)管外研修などを企画・運営する研修・交流担当(2)ちょこっと体験などを企画・実施する体験・イベント担当(3)館の広報紙であるこの「難波田城だより」の企画・編集をする広報担当の



脱穀体験の補助風景

いずれかに属し、全体で多様な活動をしています。

1期の任期は3年となっており(継続可)、現在9期目に入ったところです。登録者数は40名弱。皆和気あいあいと活動しています。(稲植 保美)

「難波田城だより」の発行

「難波田城だより」は、資料館開館前の準備室の時から発行されています。1面コラムは、開館した年の平成12年(2000)12月に発行された第6号から市民学芸員が交替で執筆してきました。資料館や公園の紹介とともに富士見市の歴史や埼玉県内の城址の紹介、市民学芸員としての関わり方なども題材となってきました。

1面

様 年 月 日

難波田城だより()号の原稿執筆のお願い

このたび以下の記事について、執筆を依頼させていただきたく思います。ご協力いただければ幸いです。なお原稿執筆に際しては以下の点をご参考ください。

なお原稿締切日は 月 日です。

記事：(1面) タイトル、内容：難波田城公園資料館、富士見市、埼玉県(武蔵)もしくは市民学芸員活動に関連することをお願いします。

文字数：600字～800字程度(±50字まで)

写真使用可能枚数：1枚～4枚

※ご不明な点は、広報班担当()におたずねください。

◎文体は(です・ます)で統一してください。

◎執筆にあたり参照した文献、使用する写真の出典を、本文とは別紙で添付してください(権利関係の処理等が必要になります。ご協力お願い致します)。

◎入稿はメール、USB等、ご持参も可能です。手書きでの入稿の場合原稿用紙をご使用ください。原稿用紙は資料館で用意いたします。

それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

市民学芸員広報班一同

現在の1面コラム執筆依頼書

平成15年(2013)9月の第17号からは、2面が「市民学芸員のページ」となります。同面上段は「難波田城知恵袋」「難波田城歳時記」「古民家シリーズ」「城跡シリーズ」「難波田城 ちょっと拝見 みどころ紹介」など今までに12のシリーズを設けて、難波田城や資料館に関わる歴史や施設、資料などの紹介を行ってきました。下段では「おもしろ・なつかし体験」として「夏休み古民家宿泊体験」などのイベントやちょこっと体験などの報告をしています。

今年度から第9期に入った市民学芸員ですが、今まで50人以上が1面コラムを執筆し100号を迎えました。記事の企画や準備などを担っている広報担当では、2面の2つの記事の作成を、研修・交流担当と体験・イベント担当の協力により進めています。

これからも、難波田城だよりを通して、資料館・市民学芸員から市民に向けて、地域の歴史・文化の風を送り届けていきたいと思っています。(古澤 立巳)

人の創ったもの★人の使ったもの

いんばんで 印判手の器

当館には庶民が使った食器が多数収蔵されています。今回はその中から、明治時代以降に普及した「印判手」について紹介します。

明治時代以降の新たな技法

江戸時代後期の飯碗めしわんや湯呑碗ゆのみわんの多くは、染付磁器（いわゆる瀬戸物）で、手描きの絵付けそめつけ（染付）で様々な絵柄が施されていました。

絵付けには、鉱石から採れた呉須ごすと呼ばれる顔料を使用し、淡い青色を特徴としていました。

それら染付の器は幕末頃まで庶民にも浸透して使われていましたが、明治時代に入ると印判手と呼ばれる装飾技法が登場し磁器生産に転機が訪れました。

印判手には大きく2つの種類があります。①型紙を器面に押し当てて刷毛摺りした「型紙摺」、②西洋から導入された技術による「銅版転写」です。これらの装飾技法はさらなる大量生産を可能にし、生産の主流となりました。その結果、日本全国の消費地に広く流通し、庶民の生活に浸透していきました。

これら印判手の顔料には、欧米よりもたらされた化学合成された酸化コバルト、通称「ペロ藍」が使用されました。そのため、色素は同じでも天然で不純物が多い呉須ごすに比べて、しっかりと発色した濃い青色が特徴となっています。

印判手の器が焼かれた主な産地は、江戸時代から磁器生産で有名な肥前ひぜん（現・佐賀県及び長崎県）や瀬戸・美濃びのう（現・愛知県及び岐阜県）のほか、伊予いよ（現・愛媛県）の砥部とべにも技術が伝わり焼かれました。

印判手の器の種類

当館所蔵の印判手の食器には様々な種類がありますが、その多くが小皿や湯呑碗、徳利、鉢、井など日常で使われる食器です。その中でも皿は、見込みと呼ばれる内面の底の部分が平坦で広く、多様な文様が描きやすいため、意匠を凝らした絵柄を見ることができます。

このコーナーでは、当館所蔵の資料や富士見市ゆかりの資料を紹介します。今ではあまり使われなくなったものからわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。



印判手の器たち（左：徳利、右：鉢）



型紙摺による印判手の小皿（上から）

型紙摺の特徴

型紙摺では、湾曲した器面には型紙を何回かに分けて刷毛摺りしているため、型紙の端の文様が重なった跡がみられます（下写真参照）。手描きの絵付けにはなく、型紙摺りならではの特徴と言えます。



文様が重なる箇所

これら印判手の食器は、明治時代以降もその技術を上しながら、文様・デザインを変えて生産され、今なお私たちの食卓を彩っています。（佐藤 一也）

＊＊夏のイベント予定＊＊

掲載したイベントは、感染症の影響などで中止・変更となる場合があります。

●じゃがいも掘り

とき／6月16日(日)午前10時、午前11時
 (各1時間程度)※悪天候時は翌週に延期
 集合場所／旧金子家住宅前(畑は公園の隣です)
 定員／各16組(申込順) 参加費／1組1000円
 主催／難波田城公園活用推進協議会
 申込み／6月1日(土)午前9時から電話で

●竹かご教室

「六ツ目編みカゴ」を作ります。
 とき／7月7日(日)午前9時30分～午後4時
 会場／講座室 対象／中学生以上
 定員／10人(申込順、応募多数時は初参加優先)
 参加費／1000円 指導／資料館友の会竹かご部会
 申込み／6月4日(火)～11日(火)午前9時に電話で

●糸つむぎ(糸車)体験

とき／7月25日(木) 8月1日(木) 8月8日(木)
 午前10時～正午、午後1時～3時(体験は5～10分程度)
 会場／旧大澤家住宅 指導／資料館友の会木綿部会

●ふるさと体験「藍の生葉染め」

藍の葉で絹のストールを染めます。
 とき／7月27日(土)午前9時30分～正午
 ※雨天の場合は8月4日(日)に延期
 集合場所／旧金子家住宅前 材料代／2000円
 定員／10人(申込順、初参加優先)
 指導／藍染めの会
 申込み／7月2日(火)～10日(水)に電話で

●子ども裁縫教室

とき／8月7日(水)午前10時～午後2時
 会場／講座室 対象／小学生～中学生
 定員／12人(申込み順) 参加費／300円(材料代)
 作品／きんちゃく袋・ショルダーバッグ
 ポケットバッグ・ペンケースから選択
 指導／美楽の会
 申込み／7月20日(土)までに電話で

●夏休み古民家宿泊体験

古民家に泊まって、昔の暮らしを体験しよう！
 とき／8月10日(土)午後1時～11日(日)午後2時
 内容／工作、食事作り、ごえもん風呂など
 対象／市内在住の小学4～6年生
 参加費／2000円(材料費・食費)
 申込み／往復はがきにて
 ※詳しくは広報「富士見」7月号をご覧ください。

●ハンカチの藍染め

とき／8月18日(日)午後1時～3時
 (体験は10分程度) 会場／旧金子家住宅
 対象／子ども～大人 協力／藍染めの会
 材料代／100円

●早朝の蓮を見学できます

6月15日(土)～7月6日(土)の土曜日は、午前6時30分に開園します。開花状況はお問い合わせください。資料館や古民家は通常どおり午前9時開館です。

●ちよっ蔵市(難波田城公園活用推進協議会主催)

6月16日(日)ふかしいも(じゃがいも)
 7月28日(日)流しそうめん
 8月はお休みです。
 ※11時から。売り切れ次第終了

田舎まんじゅう販売
 第1.3日曜日10:30～

●令和6年度職員異動

よろしくをお願いします。
 本館長(水子貝塚資料館館長) 堀 善之 昇格
 館長 駒木 敦子 鶴瀬公民館より
 資料整理補助員 青木 裕子 新任

お世話になりました。

本館長 和田 晋治 退職
 館長 早坂 廣人 水子貝塚資料館へ
 事務補助員 御厨 裕孝 退職
 資料整理補助員 和田 雅子 退職

お知らせ

「難波田城だより」のバックナンバー(カラー版・41号～)はこちらから

https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi_shisetsu/02shisetsu/shiryokan/nanbatajo/nanbatajo-dayori.html



編集後記

この「だより」の紙面構成は読者の皆さんの声に応えられるよう少しずつですが変化を続けています。何かの折に資料館窓口、公式サイトなどから、ご意見、ご感想等をいただければ幸いです。101号からどうぞよろしくお願いいたします。



富士見市立難波田城資料館
 〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1

TEL. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665

https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi_shisetsu/02shisetsu/shiryokan/nanbatajo/index.html

◆休館日／月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始 開館時間／午前9時～午後5時

◇公園休園日／なし 開園時間／午前9時～午後6時(4月～9月) 午前9時～午後5時(10月～3月)

資料館公式サイト

